

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年10月27日(2016.10.27)

【公開番号】特開2016-26457(P2016-26457A)

【公開日】平成28年2月12日(2016.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2016-010

【出願番号】特願2015-212434(P2015-212434)

【国際特許分類】

H 04 N 19/103 (2014.01)

H 04 N 19/176 (2014.01)

H 04 N 19/186 (2014.01)

H 04 N 19/159 (2014.01)

【F I】

H 04 N 19/103

H 04 N 19/176

H 04 N 19/186

H 04 N 19/159

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月9日(2016.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像ブロックのためのビデオ信号データを符号化するためのビデオ符号器であって、共通の予測器を使用して、前記ビデオ信号データのすべての色成分を符号化するための符号器を含み、前記符号器が、BフレームおよびPフレームについて、前記ビデオ信号データの前記色成分のすべてに対して共通の補間フィルタを使用し、前記符号器が、前記ビデオ信号データの前記色成分のすべてを、それらに残差色変換を適用することなく符号化する、前記ビデオ符号器。

【請求項2】

前記共通の予測器が、前記ビデオ信号データの輝度および色度成分の両方に対して使用される輝度予測器である、請求項1に記載のビデオ符号器。

【請求項3】

前記符号器が、前記ビデオ信号データの前記色成分のすべてに対して共通の空間予測モードを使用する、請求項1に記載のビデオ符号器。

【請求項4】

前記共通の空間予測モードが、国際電気通信連合電気通信標準化部門のH.264規格のprev\_intra8x8\_pred\_mode\_flag、rem\_intra8x8\_pred\_mode、prev\_intra4x4\_pred\_mode\_flag、およびrem\_intra4x4\_pred\_modeパラメータによって設定される、請求項3に記載のビデオ符号器。

【請求項5】

前記ビデオ信号データのサンプリングが、国際電気通信連合電気通信標準化部門のH.264規格の4:4:4、4:2:2、および4:2:0フォーマットの何れかに対応する、請求項1に記載のビデオ符号器。

**【請求項 6】**

画像ブロックのためのビデオ信号データを符号化するための方法であって、共通の予測器を使用して、前記ビデオ信号データのすべての色成分を符号化するステップを含み、共通の補間フィルタが、BフレームおよびPフレームについて、前記ビデオ信号データの前記色成分のすべてに対して使用され、前記符号化ステップが、前記ビデオ信号データの前記色成分のすべてを、それらに残差色変換を適用することなく符号化する、前記方法。

**【請求項 7】**

前記共通の予測器が、前記ビデオ信号データの輝度および色度成分の両方に対して使用される輝度予測器である、請求項 6 に記載の方法。

**【請求項 8】**

共通の空間予測モードが、前記ビデオ信号データの前記色成分のすべてに対して使用される、請求項 6 に記載の方法。

**【請求項 9】**

前記共通の空間予測モードが、国際電気通信連合電気通信標準化部門の H . 2 6 4 規格の prev\_intra $8 \times 8$ \_pred\_mode\_flag、rem\_intra $8 \times 8$ \_pred\_mode、prev\_intra $4 \times 4$ \_pred\_mode\_flag、および rem\_intra $4 \times 4$ \_pred\_mode パラメータによって設定される、請求項 8 に記載の方法。

**【請求項 10】**

前記符号化ステップに先行する前処理ステップにおいて、前記ビデオ信号データ上で色変換を実行するステップをさらに含む、請求項 6 に記載の方法。

**【請求項 11】**

前記ビデオ信号データのサンプリングが、国際電気通信連合電気通信標準化部門の H . 2 6 4 規格の 4 : 4 : 4、4 : 2 : 2、および 4 : 2 : 0 フォーマットの何れかに対応する、請求項 6 に記載の方法。